

ビジネスプラン発表会 inなごや2010

醸造熟成用チタンタンクの製造販売

株式会社 齋藤工業



会社紹介

物づくりはデジタル思考！
出来栄えはアナログ感覚！



沿革①（創業～1989年）

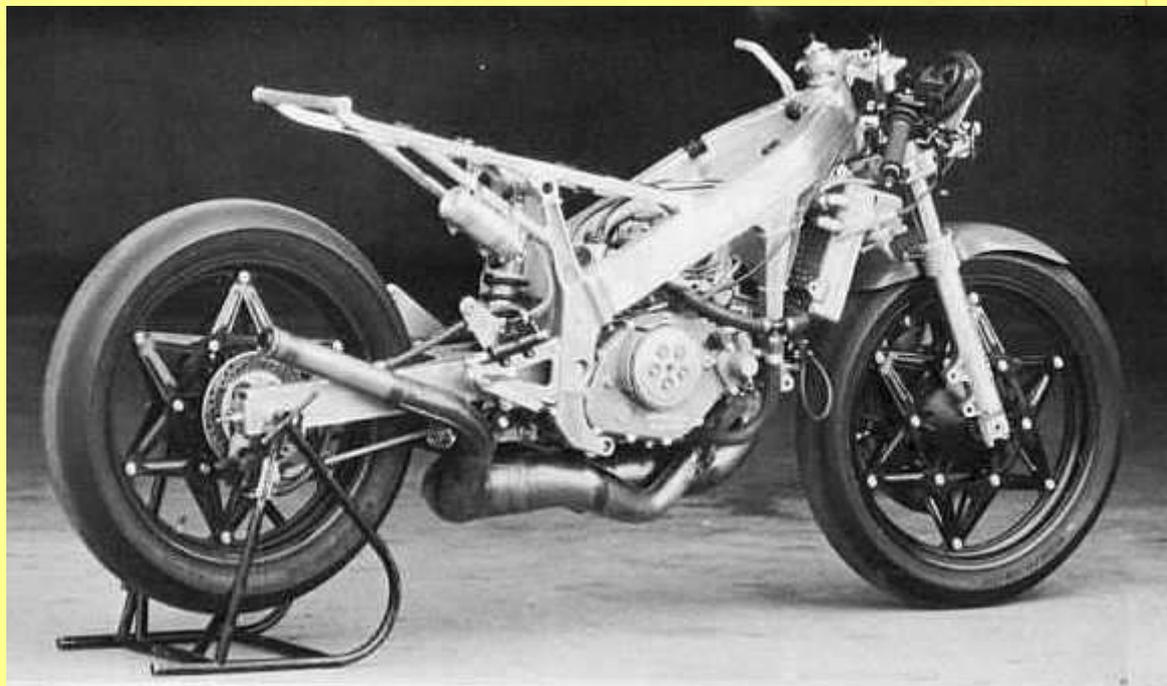
1978年10月 試作板金、溶接加工を主たる業として創立

1978年から	<ul style="list-style-type: none">★アルミ溶接部品（シャーシ、フレーム、サスペンション、ボディ、ガソリタンクなど）★国産初のスーパーカー「童夢」ほかレーシングカー（ル・マン、デイトナ、鈴鹿など）、および<u>レーシングバイク</u>の車体、フォーミュラーカー、モーターショー用ホワイトボディ製作
1985年	アルミ合金T6熱処理炉導入。構成部品のアルミ増大化傾向に対応
1986年	2D-CAD/CAM導入
1987年4月	新（現）工場完成
1989年	3D-CAD/CAM導入（オイクリッド）。 2D/3D-CAD/CAMのLAN構築とDNC加工導入。

レーシングバイクのフレーム

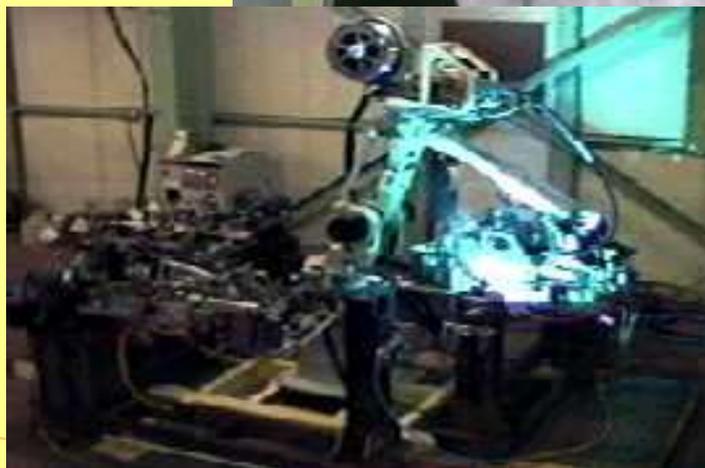
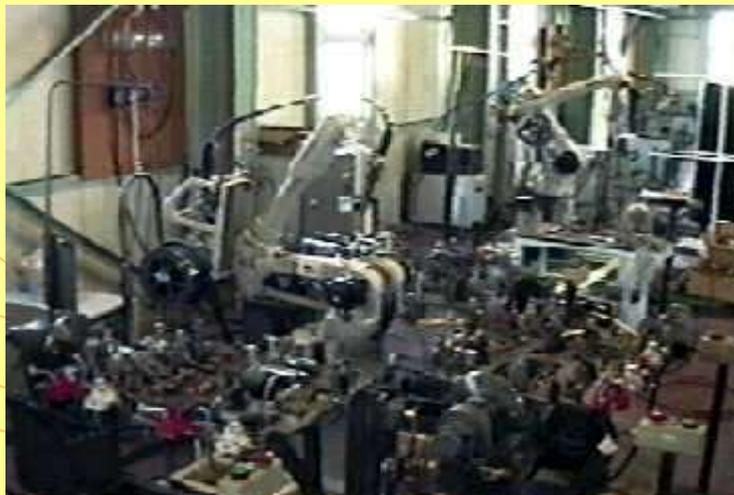


HONDA RS250R



溶接ロボットの導入

高級乗用車シートフレームのアルミ化



マグネシウム自転車

テクノフロンティア愛知2001テクノグランプリ受賞



特集 軽量化の壁に挑む 第1部



折りたたみ自転車の開発

産学官共同開発 > 工学院大学、愛知県産業技術研究所、齊藤工業



④折りたたみ完了



乗車状態



ガスタービンの燃焼器

第17回優秀板金製品技能フェア（職業訓練法人 アマダスクール）

- アマダ賞「金賞」受賞
- 中央職業能力開発協会「会長賞」受賞

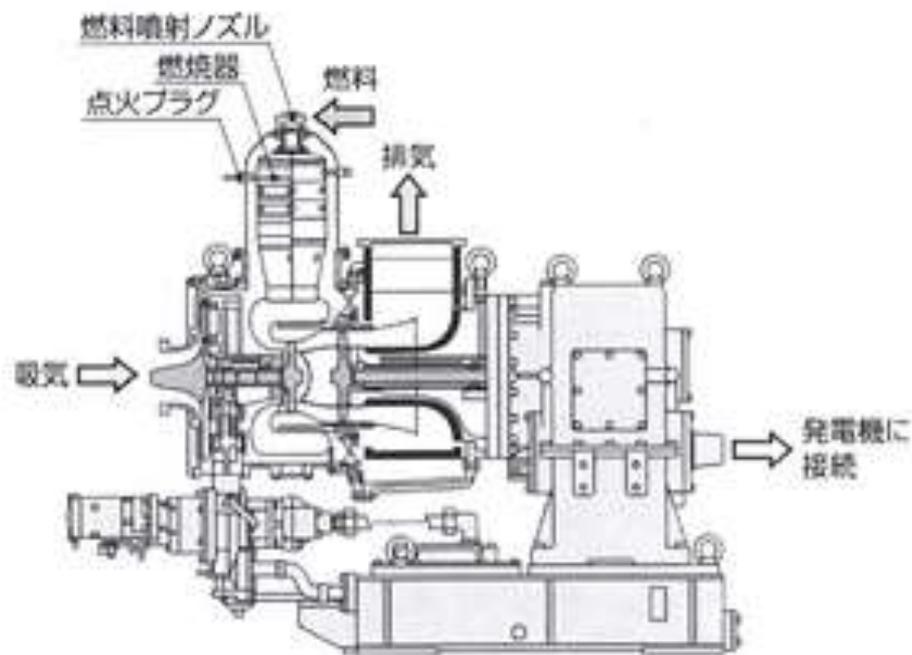


図1 マイクロガスタービンコージェネレーションシステム用エンジン構造図



特殊レーザピーニング技術の開発

産学官共同研究開発事業

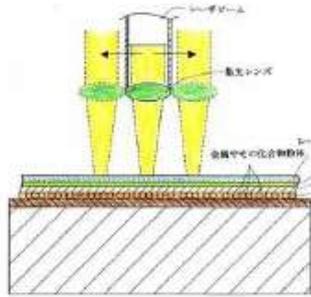


図1 特殊レーザピーニングの概略図

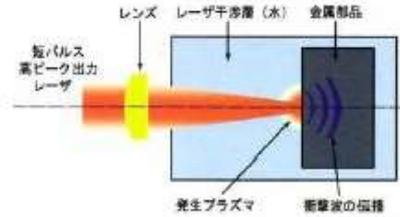


図2 従来のレーザピーニングの概略図

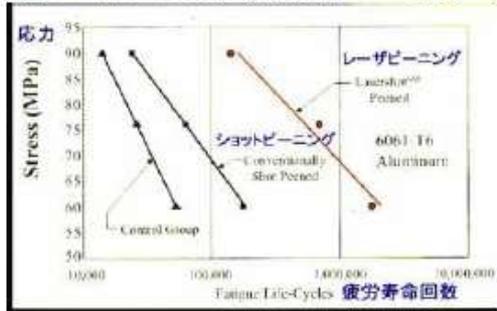
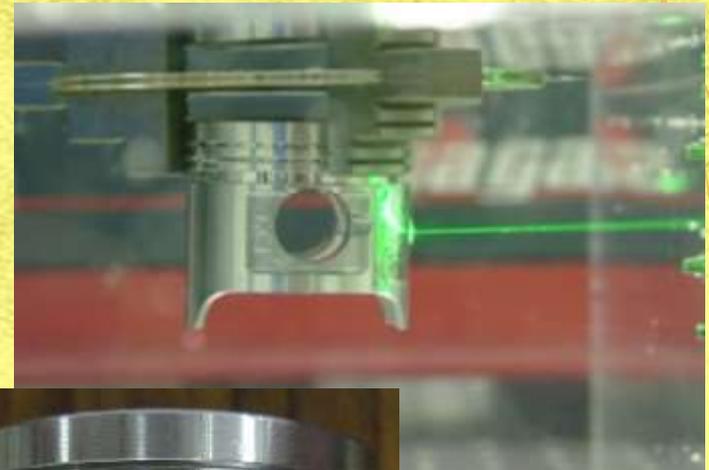


図3 アルミニウム合金の疲労強度に及ぼす レーザピーニング処理の効果



図4 ジェットエンジンのレーザピーニング (ボーイング社)

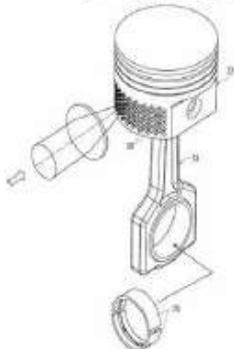
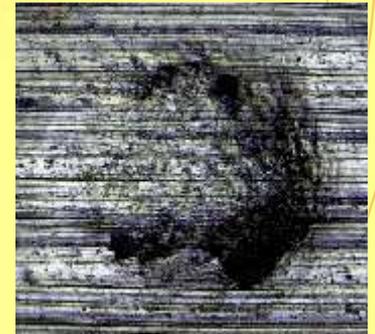


図5 ピストンヘッドおよびコネクティングロッドへの応用

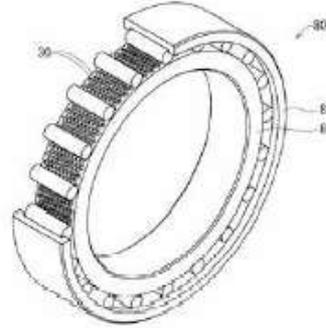
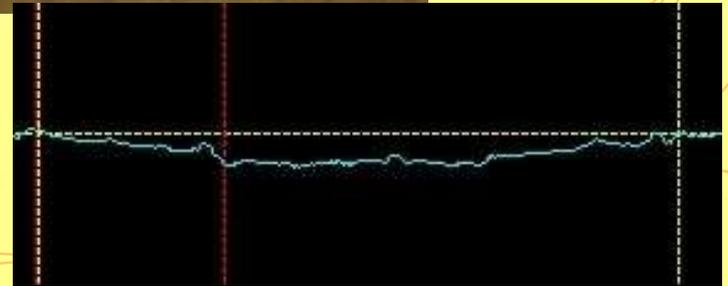


図6 リングベアリングへのレーザピーニングの応用



チタンタンクは

- 日本酒、醤油、酢などの醸造における

貯蔵

運搬

火入れ容器

などに最適

な一ぜ？



チタンは

- 軽い (比重 4.5)
- 錆びない
- 熱に強い
(融点 1668°C)
- 身体に安全

チタンタンクの基本構造

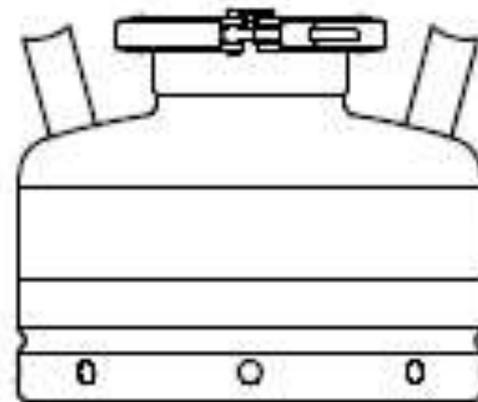
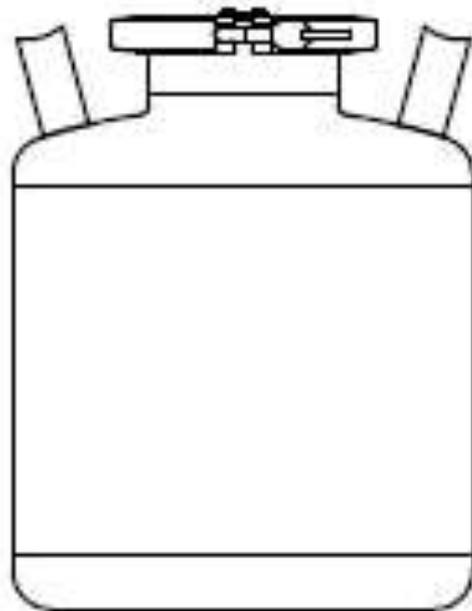
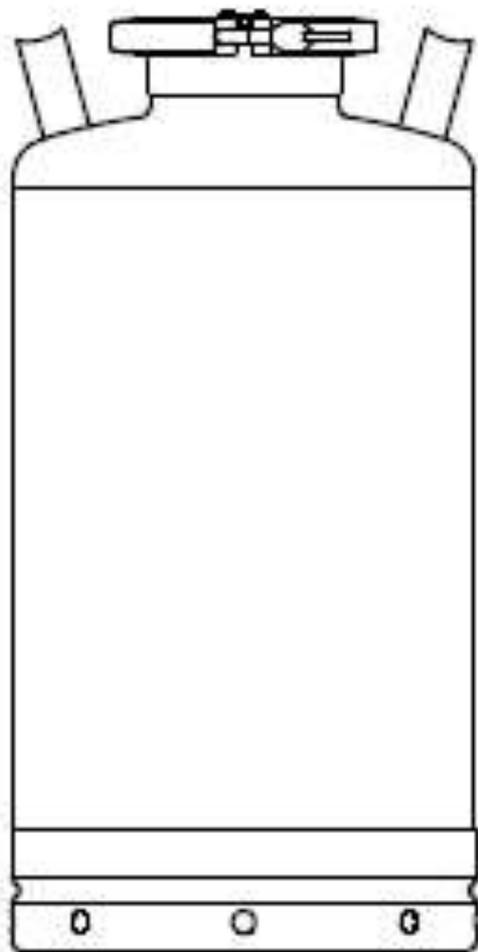
容器本体

締付金具・パッキン・蓋



チタンタンク規格

18L (10升) 11L (6升) 5.5L (3升)

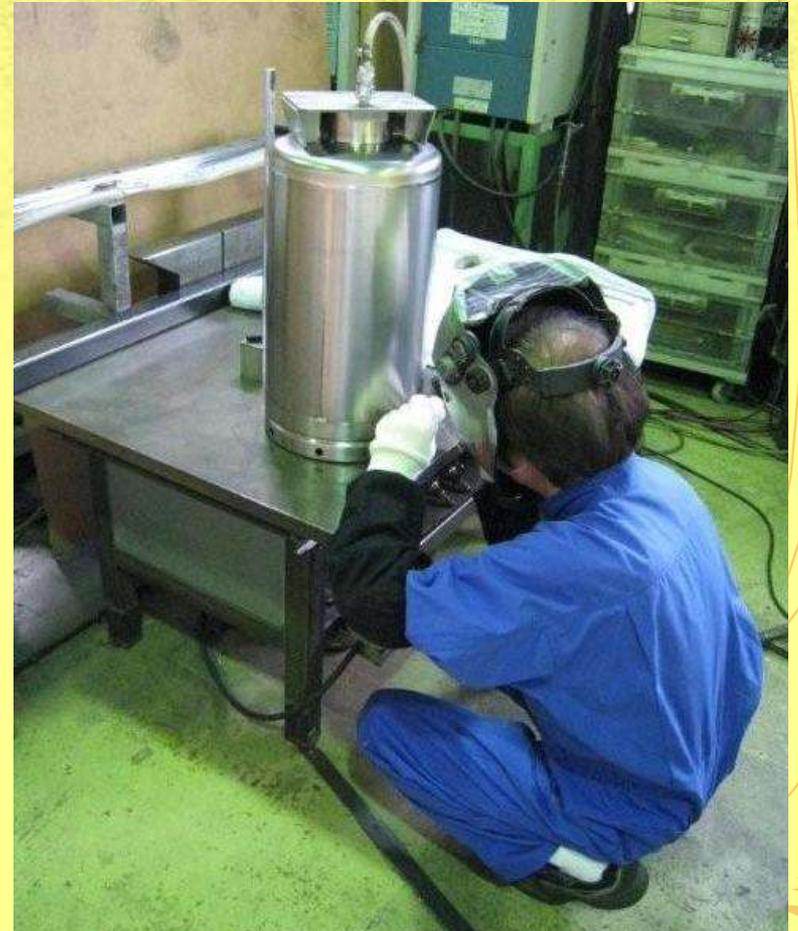


チタンタンク規格

18L (10升) 11L (6升) 5.5L (3升)



製造工程 ①



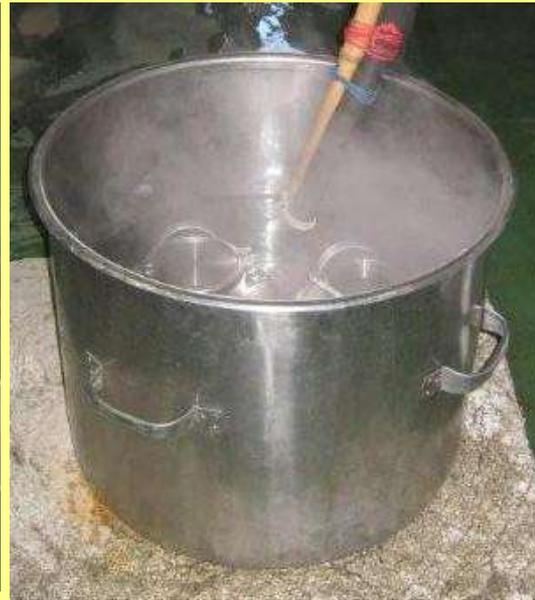
製造工程 ②



火入れ作業試験（3升タンク）

ボイラーで過熱 ⇒ 氷水で急冷

75°C保温8分⇒タンク内の酒約68°C⇒タンク内の酒約12°C
(室温約10°C、水温9°C)



今後の展開

- 価格設定および販売戦略の策定
- 製造コストの低減
- タンク以外の商品開発（ぐい飲みなど）
- 特注品試作品の対応
- 実用新案および意匠登録の登録手続き
（実用新案登録済＞第3156962号）



チタン ぐいのみ





タンクにたまった、その上澄みの原酒だけが、1斗瓶<10升が1斗、1.8Lが10本分>に囲われます。

名前の由来は、ここから来ています。大吟醸斗瓶囲い

このまま、加熱処理も濾過も何もしないで、2度の冷蔵庫で、静かに静かに時の流れを待ちます。約9ヶ月の間に、本当にゆっくり ゆっくりと熟成が進み、フレッシュ、新鮮な出来立ての味と香りを残しながら、まろやかになります。

出荷の時にも、過熱処理も濾過もしないので、酵母が生きています！大変デリケートなお酒

で、酵母が活着しているため、お客様のお手元に届いてからも、お酒の状態は刻々と変わっていきます。



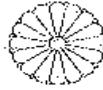
米の手洗いから自然冷却、麴造り、酒母造り、仕込みの温度管理など全ての工程において昔ながらの手造りの吟醸しこみで膨大な手間ひまをかけています。

こだわるほどに手作業が多くなるため、限られた量しか造れません。**一升瓶で100本限定500mlで200本限定です。**

杜氏の目の届く範囲の量しか仕込まないという限定仕込みで、心を尽くして造っております。

実用新案登録証

第3156962号



実用新案登録証
CERTIFICATE OF UTILITY MODEL REGISTRATION
登録第3156962号
REGISTRATION NUMBER

考案の名称(TITLE OF THE DEVICE)
液体容器

実用新案権者(OWNER OF THE UTILITY MODEL)
愛知県知多郡武豊町字沢田新田8-9番地の5
株式会社齋藤工業

考案者(CREATOR OF DEVICE)

齋藤 清隆

出願番号(APPLICATION NUMBER) 実願2000-008174

出願年月日(FILING DATE) 平成21年10月26日(Correspondence No. 28200)

この考案は、登録するものと確定し、実用新案原簿に登録されたことを証する。
IT IS TO CERTIFY THAT THE UTILITY MODEL IS REGISTERED ON THE REGISTER OF THE JAPAN PATENT OFFICE.

平成22年 1月 6日(January 5, 2010)

特許庁長官(COMMISSIONER, JAPAN PATENT OFFICE)

細野 哲弘

ありがとう
ございました

